



隊友会市川支部だより

Vol33 平成27年7月号



発行 隊友会市川支部

編集 支部長 永井 博



市川市民納涼花火大会（8月1日：江戸川河川敷）

市川支部総会及び懇親会

5月24日、支部長居住マンション施設において、支部総会を実施し、平成26年度の活動報告並びに平成27年度活動計画(別添参照)について審議し、承認されました。

総会に引続く懇親会には、市川市出身の猪口邦子参議院議員(写真右)、園浦健太郎衆議院議員代理・国松弘樹様、金子正市川市議会議員、市川市危機管理課主幹・平賀遵様、千葉地方協力本部市川募集案内所所長代理・菅谷英二郎様、海幕装備調整官・時久寛司様のご出席を得て、有意義な意見交換を行いました。



隊友会本部定時総会

平成27年度定時総会が6月25日グランドヒル市ヶ谷で開催されました。委任状による出席者を含め、48,063名の参加を得て、3議案が賛成多数で可決されました。

1号議案 平成26年度事業報告(案)

会員数⇒隊友会全体 76,982名(前年比 1,412名減)
千葉県隊友 3,236名(前年比 23名減)

2号議案 平成26年度収支決算(案)

26年度 838,275千円/25年度 847,675千円
会員数減少と共に、収入が減少

第3号議案 終身会員(除く現終身会員)の廃止(案)

新規会員から終身会員を廃止し、年会員に一本化するもので、現終身会員は、退会するまで終身会員とし、寄付金は現行どおりとのことです。



市川支部の議決権行使者は37名(49%)と昨年の79%から減少し、千葉県平均6.2%を下回りました。正会員は、企業の株主総会と同様、公益法人である隊友会も定時総会で議決権を行使しなければなりません。ハガキの出し忘れの無いよう電話連絡できるよう、葉書の宛名を支部としていただくよう、県本部に提案いたしました。

支部長等会議及び宇都参議院議員講話

7月17日(金)、茜浜ホールにおいて平成27年度千葉県隊友会前期理事役会及び支部長等会議が実施され、永井支部長が参加しました。

主議題の『会勢拡大施策』について、「賛助会員(現役隊員)同様に正会員も強制入会すべき」、「部隊OB会、偕行社、水交会、つばさ会等と一本化を検討すべきでは?」とやや無謀な提案をいたしました。



河野会長



また、会費・会運営協力費(寄付)の納入状況について紹介があり、市川支部は年会費88%(県平均77%)、会運営協力費(寄付)55%(同49%)でした。



会議後、宇都参議院議員の講話が行われ、支部から7名が参加しました。我が国周辺環境からの平和安全整備の必要性、高度な近代兵器国家を扱う面から徴兵制はあり得ない、自衛隊員のリスクが高まるといった反対論への警鐘について判りやすく説明されました。そのうえで、OBの声で、真っ当な世論形成をと要望された。講演後の懇親会では、議員と歓談しました。(写真右上)

予備自衛官講話

隊友会市川支部山口会員は、7月14日(火)9時から約1時間、陸上自衛隊習志野駐屯地において5日間訓練に参加した予備自衛官44名に対し、講話を実施するとともに定年で退官される2名の隊員に対し、千葉県隊友会として表彰を行いました。

当日は、それまで8日連続の雨降りがまるで嘘のように晴れ渡り猛暑となりましたが、駐屯地のご配慮でクーラーの効いた涼しい会場での講話となり、隊員にとって最適の会場となりました。



講話は二部構成で、最初は千葉県市川市出身の自衛官が自衛隊初の多国籍部隊の司令官に就任された話を、後半は体験とユーモアを交えた講師の中国旅行記の話を行いました。隊員にとっては、二話とも初めて聞く内容が多くあって、大いに関心を持たれるとともに、特に最近の中国事情についてわかりやすく解説したため、盛況のうちに講話を終えることができました。

千葉県市川市出身の隊員が自衛隊初の多国籍部隊の司令官に就任

ソマリア沖アデン湾で海賊対処に当たる多国籍部隊、第151連合任務部隊の司令官に、**市川市出身**の伊藤弘海将補が就任。活動期間は5月末から8月1日まで。自衛官が多国籍部隊の司令官を務めるのは初めてです。



ゴルフコンペ、市川支部6位!

5月22日、丸ノ内倶楽部において、千葉県隊友会ゴルフコンペが実施され、支部から山本会員、山下会員、春日会員が参加し、念願の団体戦にm参戦しました。



個人戦は、山下会員と山本会員はグロス86、春日会員93で、成績(ネット)は、春日会員:11位、山下会員:13位、山本会員:30位でした。団体戦は、10チーム中6位でした。グロスはそこそこでしたが、うまく隠しホールに当たりませんでしたとの戦評でした。来年は10回目となり盛大にしたいと多数の参加の依頼がありましたので、今からご予約下さい。

捏造性奴隷裁判傍聴記

さる7月13日(月)に東京地方裁判所で行われました捏造性奴隷裁判の第8回公判を傍聴してきました。

裁判の発端は次の通りです。原告の吉見義明中央大学教授が自身の著作の中に「日本軍の慰安婦は性奴隷であった」と記述したことに対し、被告であります前衆議院議員の桜内文城氏が外国特派員協会の記者会見で「性奴隷は捏造だ」と述べたことに対し吉見氏が名誉棄損で訴えているものです。



本公判では被告側証人の秦郁彦元拓殖大学教授と原告である吉見教授本人に対して原告・被告それぞれの弁護士から尋問がありました。双方の尋問を聞いていまして秦元教授の理路整然とした尋問答弁に対して、吉見教授は「研究不足」や「初めに結論ありきの主張」が露呈した尋問答弁だったとの印象を持ちました。事実吉見教授の尋問中にはあまりにもちぐはぐな発言に傍聴席から「失笑」や「ため息」が多く聞かれました。

裁判の傍聴人は発言はできませんが失笑やため息、うなずきなどは規制されませんでしたので傍聴人の雰囲気は表現できました。また今回の裁判では自分の考えをまとめるのに良い機会となりました。(弘田会員)

下志津駐屯地追悼式会場整備協力依頼

追悼式に先立ち、「鎮めの庭」の整備を行います。協力できる方は、支部長までご連絡下さい。

(9月9日締切)

- 日時 10月7日(水) 900~1900
- 昼食は、駐屯地食堂にて高射学校長と会食予定
- 細部は、参加者にご案内いたします。



新入会員の紹介

池部定久(イケベ サトシ)様
海上自衛隊 佐造補所(佐世保) 新田1丁目

訃報

佐藤修一様(87歳、航空自衛隊:幹部学校)は、5月16日、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします

お知らせ

「隊友」7月号掲載の右の記事(7ページ右上)は、現在防衛省が検討中であり、未だ決定したものではありません。(公開不可)



県隊友会からの連絡、駐屯地記念日への招待、各種講演のご案内等のため、インターネット環境をお持ちの方は、アドレスの登録をお願いいたします。